

# シンナガサキミーティング開催レポート

## i n 伊良林小学校区



令和7年2月14日（金）、自治会やPTA、民生委員、地元中学生など17人の皆さんにお集まりいただき、伊良林小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、それぞれの立場で地域活動に取り組んでいることなどをお話いただきました。

## いただいたご意見

### ①市公式ウェブサイト、ラインについて

桜馬場中学校の2年生が地域学習を行っていて、長崎の魅力や課題点を調べているが、長崎の魅力といわれたときに、ぱっと思いつかない。長崎の魅力をすぐに知ることができるようなサイトなどを作ってほしい。

市の考え方  
回答

令和7年3月に公式ウェブサイトと公式LINEをリニューアルしました。  
新しい公式ウェブサイトには、「長崎と出会う」と題した長崎市の魅力発信のコーナーを用意しています。長崎の歴史や文化、平和、食、自然など長崎の魅力をジャンルごとに紹介していますので、ぜひご覧ください。  
公式LINEのリニューアルにより、今までは市役所からの通知を受け取るだけでしたが、「ほしい情報」をLINEで入手できるようになりました。大きく「暮らし」「防災」「魅力」というメニューごとに、チャット形式で情報を入手できます。魅力メニューからは、長崎市のシティプロモーションサイト「長崎のWA!」や「さしみシティ」をはじめ長崎市DMOなど様々な長崎の魅力に関する情報を探ることができます。  
また、令和6年11月から、中学生をはじめとした若い世代向けに、InstagramやTikTokを活用したショート動画による長崎市の魅力発信に取り組んでいますので、ぜひご覧ください。

### ②小中学生へのイベント周知について

小中学生が参加できるイベントについて、チラシがない場合は情報が分からない。Chromebookを1人1台持っているので、Gメールで配信してくれたら、参加者等も増えると思う。

市の考え方  
回答

令和6年9月から、保護者向け連絡ツール「tetoru（テトル）」を用いた市立小中学校保護者向けのチラシ等の配信を週1回の頻度で実施しています。tetoruで配信されたチラシ等の情報は、保護者のスマホアプリから確認することができます。児童生徒に対しては、保護者へのチラシ配信と同じタイミングで、1人1台の学習者用パソコン利用時に表示されるポータルサイト（学びのとびら）にも掲載しているため、いつでも内容を確認することができます。

### ③高齢者の見守りについて

独り住まいの高齢者が増加しているため、市には、新聞配達やヤクルト、郵便局などと連携し、異常があった場合には自治会長や民生委員に連絡するような契約をしてほしい。

市の考え方

回答

長崎市では、現在、新聞社やヤクルト等を含めた19の企業と高齢者あんしんネットワーク協定を結んでいます。この協定は、営業等の業務の中で事故や異変等に気付いた際に市へ連絡していただくことで、高齢者の安否確認や異変の早期発見・早期対応につなげるための仕組みです。

また、長崎市では、「長崎市と日本郵便株式会社との包括的連携に関する協定」や「長崎市と長崎市内郵便局の協力に関する協定」により、郵便配達等の業務の中で、高齢者、障害者等に異変があった場合には、内容に応じて長崎市の担当課に情報提供され、また急を要する場合には、直接警察、消防に通報されることで、対応を行う仕組みを整えています。これらの協定により、事業者と連携しながら高齢者の見守りを行っています。

### ④自治会加入促進について

自治会加入者が減少しているため、市役所で転入届を提出する際に、住民に対してその地域の自治会への加入について考えるようにしてほしい。

市の考え方

回答

現在、長崎市では、転入・転居の際に地域センターの窓口において自治会の必要性等を記載したチラシを配布し、自治会へ加入していただくよう呼びかけを行うとともに、自治会加入を希望する方に対しては、即座に加入手続きが行えるように、自治会長と繋ぐ取組みを行っています。

また、公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会長崎支部、公益社団法人 全日本不動産協会長崎県本部、長崎市保健環境自治連合会、長崎市の4者で、「長崎市における自治会への加入促進に関する協定」を締結し、住宅の販売、仲介、賃貸等の新規契約または継続契約時において、入居世帯に対し、長崎市と保健環境自治連合会が作成したチラシの配布（オンラインでの契約の場合は契約書にデータ化したチラシの添付や取引画面における市の自治会紹介HPのリンク貼付）など自治会への加入促進の取組みを行っています。

そのほか、「さるく見聞館について」、「精霊流しのこも置き場としての公園利用について」、「中学生の花いっぱい活動について」、「認知症のかたの見守りについて」などのご意見をいただきました。いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

## 鈴木市長のひと言

ご参加いただいた皆さんそれぞれが、地域の中で色々な活動をされて、この地域を良くしたいというそういう熱意にあふれていると感じました。予定の時間を超えて、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。今後も伊良林地区のより良い地域づくりに一緒に取り組んでいきたいと思えます。



## 参加者からの感想

地域の問題点を皆さんと話し合いその話を市長がしっかり聞いてくださり、開かれた町づくりにつながっていくのではないかと希望がもてました。

地域の代表の方々の様々な問題、課題が共有出来て良かった。自分の自治会で活用できる事を行っていききたい。

市の新しい取り組みや、質問事項への考え方を直接聞くことが出来て良かった。

地域住民の皆さんと話して伊良林地区のことについて、課題、成果などが知れて良かった。

